





# 歴史の歯車を逆転させよ 「労基法」改悪を粉碎せよ

政府・自民党は、三月六日の閣議決定で、今国会に「労基法」の抜本的な改悪案を提出することを決めた。四十年ぶりの抜本的な改悪となるこの法案は、中曾根自民党政府による戦後政治の総決算路線の一環として、日本労働者階級のみならず、全世界の労働者階級の利害に真向から敵対する反動的内容で貢ぬかれている。

労働者にかけられた、資本家どもによる

政府・自民党は、三月六日の閣議決定で、今国会に「労基法」の抜本的な改悪案を提出することを決めた。四十年ぶりの抜本的な改悪となるこの法案は、中曾根自民党政府による戦後政治の総決算路線の一環として、日本労働者階級のみならず、全世界の労働者階級の利害に真向から敵対する反動的内容で貢ぬかれている。

労働者にかけられた、資本家どもによる

この赤裸々な攻撃は、昨年四月一日に雇用均等法と抱き合せで労働基準法の女性保護規定の撤廃緩和の施行、七月一日の派遣労働法の施行と一緒にものであり、労働者階級に対する資本家の專制支配を更に強め、賃金奴隸としての労働者の労働条件を悪化させ、精神的・肉体的疲弊を極限まで押し進めざるものとなる。

平均旅行日は二十四・六日、一ヶ月に平均十九日は滞在する。このバカンスは、自由業・高級管理職の八六・一%を最高に、中堅管理職、サービス業と続き、最低でも労働者四九・一%、無職の市民でも四〇%は楽しんでいる。

そしておもにこれらに近い水準

が他の工業の発達した先進諸国においては実現されている。

日本は、二六協定によりは、週四〇時間制を実現して、「一九三六年フランスの人民は、週四〇時間制を採択した。そ

れぞれは、八時間労働の実現

によって規定されている。(資本論)

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望

の大きさや数は一般的な文化水準

によって規定されている。(資本論)

「資本主義的生産の歴史では、

労働日は不変量ではなく、可

変量である。その二つの部分の一

方は、労働者の不斷の再生産

のために必要な労働時間によつて

規定され得るが、しかし労働

日の全体の長さは、剩余労働の長

さまたは持続時間とともに変動す

る。」

そして、労働日には最大限度が

ある。肉体的限界と精神的限界で

ある。「労働者は、精神的および

社会的な諸欲求を満足させるため

の時間を必要とし、これらの欲望





# 单一の革命党を戦い取る為に

われわれは、共産主義諸派に対し、論戦を積極的に展開してゆく。もちろん論戦の為の論戦をやるつもりはない。革命を勝利へ導くことのできる、単一の強大な革命党を戦い取る為に、である。まずは、共産同（火花）の綱領草案に対する批判から入ることにした。わが同盟に対する批判・反論を歓迎する。（編集部）

## サークル主義を打破し、統合へ

昨七月、衆参同日選挙の大勝により中曾根は得意の絶頂にあった。かれは、自己の策略の成功に酔い権力基盤は磐石と考えた。自民党はわが世の春を詠歌した。

しかし、一年を経ぬ今、中曾根は身動きできぬ窮状である。売上税に対する圧倒的な人民大衆の反対の声が、かれを追いつめ、激甚な内高、対米経済関係の陥悪さが、財界にかれを貰はせつて、たとえ野党が天下を取つたとして、今地盤を握がせている問題にケリをつけることは容易くできない相談である。

今日の政治上のきしみの根元には、周知の財政危機があり、エネルギー、軍需、先端部門等を除いてすでに合衆国を凌駕した日本の工業力、地盤沈下の著しい米国等々の要因による西側帝国主義の再編がある。帝国主義同時に、民族解放革命の大波に巻きされ、累積債務問題の不思議な地図の上にある。

もちろん、支配階級はこの数年来自己の体制の行詰りに応じて、産業構造の大再編、国家体制の改造に着手してきた。しかし、この間の状況は、かれらの再編のもうろこそのものが悲鳴をあげつてあることを示している。

すなわち、今日の事態の根底には、世界一・二にまで至った日本の生産諸力に

対して、それを生み出し支えてきた生産様式の限界の否応ない露呈がある。これに応じた政治様式の不適性の表白がある。

莫大な貸付けと返済の目的のない借金、援助額と関係の密接さとに比例する第三世界の反対の増大、一方の激しい資本主義といつて差支えない「既存マル

の当面の任務は、この生産様式のかげで彼らの共通の終局目標への途上

で、さまざまに社会民主主義者がか

れて、もどく彼らの共通の終局目標への途上

で、レーニンはどう述べていた。

われわれは、ロシアの社会主義者に

かかる当面の任務は、この生産様式の発

展開によって、組織を自立的に仕上げ

たのである。

クス主義への批判を極めて重要な立脚

として出発した。しかし、批判すること

の正当性は、必ずしも批判の正しさと

確固さとを保障する訳ではない。批判の

その矮小さは、いざんわが国の左翼内に

見地は結局右に「左」に幾つも分裂し

たのであって、トロツキズム、構造改革

易戦争と他方の軍事上の協調、伸びきった生産力と増大する失業、投機の盛況と

多数の生活の低下、「余り」と利益を

生む投資領域の縮少、国家の肥大と財源の枯渇…これらは対決は早晚経済と社会・政治に大出血をもたらすにはおか

ない。

一つの体制の破綻が明白になつてゐる

今日、政治上の選択には大略三つの方向があつた。ひとつは、労働者・人民への犠牲と抑圧を基に、その経済力にもの

いわせ世界有数の帝国主義大国へ自己を

破局を回避し、人民大衆の生活の向上が反動である。いまひとつは、これまでど

同様アルジョアジートとの協調と妥協で、

労働者の国家を樹立するため危機の時代に最大限奮闘する革命の道である。

今日は、第一の反動が優勢を占めていた。とはいっても、第二の改良が盛返しを計つてゐる。しかし、第三の革命勢力は今に至るも分散と低迷の極にある。こ

れはだらけ、断固正面に闘ひうつた權力

では、その最大のものでさえ、依然小

いままでもなく、綱領は革命党的戦闘

を真に根柢的なものから組織し、綱

領に打めることから組織の礎を築こう

ことには全くできない相談である。また、

われわれは綱領論争を始め綱領を作り

ことには全くできない相談であった。

思想・政治上の確固とした拠所の欠如

とは、また、マックス・レーニンの基

づいてはドイツとちがつたまことに、ドイ

ツの対してはロシアとちがつたまことに、

本員地をたんに顧みないということだけ

ではない。それは、急速に変貌をとげた

帝國主義の現状への切込みにおいてはな

らない。そうするならば、「共産党宣

言」+「エルフルト綱領」—「ロシア社

会民主労働党綱領」—「ロシア共産党綱領」（一九一九）という骨太い流れがお

のぞと見えてくる。そして、これらをめぐらして闘はれた綱領論争の豊富で有意

なものもある。

こうした思想・政治上の混乱・分裂

をするその方向は、充分に評価しえるものである。問題は、かれらがその主張に

本員地をたんに顧みないということだけ

ではない。それは、急速に変貌をとげた

帝國主義の現状への切込みにおいてはな

らない。そうするならば、「共産党宣

言」+「エルフルト綱領」—「ロシア社

会民主労働党綱領」—「ロシア共産党綱

領」（一九一九）という骨太い流れがお

のぞと見えてくる。そして、これらをめ

ぐらして闘はれた綱領論争の豊富で有意

のものもある。

それは、かれらの政治上の傾向の產物

の三以降の、日本における共産主義運

動の綱領論争を教訓としているけれども、その偏向をかられる綱領（草

案）に直かに説みともども、できなく

もない。とはいっても、偏向の何たるかは、

かれらの組織上の足跡、綱領（草案）解

露、そのより高度な社会体制への必然的

のなかかということである。

これは、かれらの政治上の傾向の產物

の三以降の、日本における共産主義運

動の綱領論争を教訓としているけれども、その偏向をかられる綱領（草

案）に直かに説みともども、できなく

もない。とはいっても、偏向の何たるかは、

かれらの組織上の足跡、綱領（草案）解